

| |
|---------------------------------|
| 課題解決型研究プログラム 安全確保研究プログラム |
|---------------------------------|

| |
|-------------------|
| 委員会からの主要意見 |
|-------------------|

| |
|---------------|
| 現状についての評価・質問等 |
|---------------|

- | |
|--|
| <p>○ヒトの健康および生態系影響に関する研究が網羅的に高いレベルで実施されており、個別には順調に進捗している。水銀に関するプロジェクトを立ち上げるなど即応した研究に取り組んでいることも評価できる。</p> <p>○一方、研究プログラム全体としてのまとまりが弱く、8つの課題の連携・相互関係がわかりにくい。</p> <p>○非常に多くの研究が実施される中で、国環研としての独自性をより明確化した方がよい。</p> |
|--|

| |
|----------|
| 今後への期待など |
|----------|

- | |
|---|
| <p>○全成果は膨大な量であり、今後の環境研究や政策決定に影響を与えるような重要なデータが多い。</p> <p>○研究プログラムを総括するPJ8について、全体構想や取り組みの妥当性を示してほしい。</p> <p>○フィールド研究は時間がかかるが、年度ごとの成果と到達点を明確にするとともに、新たに発見された課題にも柔軟に取り組むことができるような研究体制の構築を望む。</p> <p>○一般市民に向けた研究成果の発信や啓発活動、ならびに社会実装にも期待する。</p> |
|---|

| |
|------------------------|
| 主要意見に対する国環研の考え方 |
|------------------------|

- | |
|--|
| <p>①健康および生態系影響に関する研究推進に評価をいただきありがとうございます。本研究プログラムは、分野や課題が多岐にわたるため一体的な運用には苦心しております。今後とも各PJ間や他分野との連携を進めつつ、来年度から、各PJの成果を横断的に生かす成果の可能性を検討し、より見える形になるよう努力します。</p> <p>②フィールド研究の新たな課題への取り組み、PJ7 成果の社会実装の推進については一層努力したいと思います。PJ8 については、ご指摘の通り、来年度以降より具体的な構想をお示しできるよう進めたいと思います。</p> <p>③関連する研究事業と連携しつつ、研究成果と政策決定双方への貢献、市民向けの発信を強化すべく引き続き努力して参ります。</p> |
|--|